

恐竜図鑑

— 失われた世界の想像 / 創造 —
DINOSAUR DREAMS
IMAGINATION AND CREATION OF THE LOST WORLD

5月14日(日)まで

観覧料 一般 2,000円、大学生 1,500円、高校生以下無料、
70歳以上 1,000円、障がいのある方(一般 500円、
大学生 350円)

子供から大人まで多くの大人を魅了し続ける恐竜。本展は、恐竜が「発見」された19世紀の奇妙な復元図から、チャールズ・R・ナイトやステフェン・プリアンらが躍動する恐竜たちを生きたと描き出した20世紀の絵画、さらには最先端の研究に基づく今日のパレオアート(古生物美術)まで、恐竜をはじめとする太古の生き物のイメージの変遷を概観します。

関連イベント

- 学芸員による解説会 4月22日(土) 15:00~(約45分)、レクチャールーム、定員50名、聴講無料、当日先着順
- こどものイベント 詳細は当館Webサイトにてお知らせします。



ロバート・プリアン(Robert Paul)の恐竜の海を生き物として描いた「ロバート・プリアン」(1860年頃) 複製・キャンバス
© 2023 Sedgwick Museum of Earth Sciences, University of Cambridge. Reproduced with permission.

出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち

6月3日(土)~7月23日(日)

観覧料 未定(詳細は当館Webサイトにてお知らせします。)

兵庫県ゆかりの洋画家、金山平三(1883-1964)の生誕140年を記念して開催する本展では、それまで取り上げることの少なかった金山の交友関係や壁画制作への取り組みなど様々な視点に焦点をあて、金山を中心とした、日本近代美術の新たな像の構築をめざします。当館および他館所蔵の金山の代表作に加え、彼と交流のあった美術家による珍しい絵画作品も展示します。



金山平三〈ざびれたる寛城子〉1918年 油彩・布 当館蔵

関連イベント

- 学芸員による解説会 6月17日(土)、6月24日(土)、7月22日(土) 各日15:00~(約45分)、レクチャールーム、定員50名、聴講無料、当日先着順
- こどものイベント 詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

2023年コレクション展 I

《特集1》

虚実のあいり Between Fiction and Reality

FICTION ← → REALITY

7月23日(日)まで

前期:~4月9日(日) 後期:4月29日(土)~7月23日(日)
※4月10日(月)~28日(金)は閉室し、一部展示替えを行います。

観覧料 一般 500円、大学生 400円、高校生以下無料、
70歳以上 250円、障がいのある方(一般 100円、大学生 100円)

古来より、美術作品には虚構と現実のあいりをゆれ動く側面がありました。特集1では、当館の近現代の作品の中でも「リアル」を追求しながら同時に「フィクション」であろうとする、またその逆に「フィクション」でありながら現実世界の在りようを如実に表す、といった虚実のあいりに位置する作品を展示して、その多様な表現をご紹介します。



東野智裕〈侵食1〉2013年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵

関連イベント

- 学芸員による解説会 4月9日(日)、5月20日(土) 各日15:00~(約45分)、レクチャールーム、定員50名、聴講無料、当日先着順

《特集2》

中国明清の書画篆刻 梅舒適コレクションの精華

From Ming to Qing: Chinese painting, calligraphy and seal carving in the BAI Joteki Collection

4月9日(日)まで

特集2では、戦後日本を代表する書家・篆刻家である梅舒適(1916~2008、本名: 稲田文一)が独自の金石研究に基づく慧眼で収集した文物のなかから、中国明・清時代の優品約90件を紹介。コレクションは明代中期の文人・文徵明(1470~1559)にはじまり、清代中期に揚州を舞台に活躍した書画家たち・揚州八怪、中国最後の文人と称される呉昌碩(1844~1927)にまでおよび、書・画・篆刻を網羅している点に大きな魅力があります。初の大規模な公開となる梅舒適コレクションの精華を、心ゆくまでご堪能ください。



羅聘(墨梅図)清・乾隆48年(1783) 梅舒適コレクション 第II期展示

コレクション展無料の日《4月9日(日)、5月14日(日)、6月11日(日)》

展示期間中の毎月第2日曜は、公益財団法人伊藤文化財団のご協力により、コレクション展を無料でご覧いただけます。

美術館の調べ

■ 渡部陽翔ピアノリサイタル
4月1日(土) 14:00~ アトリエ1にて
(定員60名、無料
当日13:20から整理券配布)
曲目: ドビュッシー「映像 第2集より
「そして月は鹿寺に落ちる」」ほか



渡部陽翔 (ピアノ)

■ 高橋真珠ヴァイオリンリサイタル
4月15日(土) 14:00~ アトリエ1にて
(定員60名、無料
当日13:20から整理券配布)
曲目: プロコフィエフ「無伴奏ヴァイオリン組曲
第2番」ほか



高橋真珠 (ヴァイオリン)

■ 北島里枝&藤本紀子デュオコンサート
5月27日(土) 14:00~
アトリエ1にて
(定員60名、無料
当日13:20から整理券配布)
曲目: ベートーヴェン「ピアノと
ヴァイオリンのためのソナタ
タ6番イ長調」ほか



北島里枝 (ヴァイオリン)

藤本紀子 (ピアノ)

四季シリーズコンサート<春>

■ 松本光史ピアノコンサート
6月4日(日) 14:00~ アトリエ1にて
3,000円(当日3,500円)
曲目: ショパン「幻想曲 作品49」ほか



松本光史 (ピアノ)

落語の会

■ 泉美亭ワンコイン寄席
4月21日(金) 14:00~
ミュージアムホールにて
500円(定員80名、当日13:20から
会場前でチケット販売)
演目: 「千両みかん」林家花丸
「鹿政説」露の吉次



林家花丸

露の吉次

6月9日(金) 14:00~
ミュージアムホールにて
500円(定員80名、当日13:20から
会場前でチケット販売)
演目: 「竹の水仙」露の吉次
「鯛」桂三歩



露の吉次

桂三歩

県美シネマクラシック

4月14日(金)
■ 特別展「恐竜図鑑」開催記念特別上映
「伝説の恐竜・怪物映画特集」

伝説的な恐竜映画「ロストワールド」と怪物映画の最高傑作「キングコング」の2本を上映する。いずれも後の恐竜映画やSF映画に大きな影響を与えた記念碑的作品。「ロストワールド」の原作はシャーロックホームズ生みの親として名高いコナン・ドイルのSF小説。「ロストワールド」上映後に、学芸員による「恐竜図鑑」の特別解説がある。



「ロストワールド」の一場面 (提供: アイヴィー・シー)

「ロストワールド」10:30
(1925年、1時間3分) サイレント音楽付
監督: ハリー・O・ホイト
出演: ベッシー・ラヴ、ルイス・ストーン、ウォレス・ピリアーほか
「キングコング」14:00
(1933年、1時間37分)
監督: メリアン・C・クーパー、アーネスト・B・シュードバック
出演: フェイ・レイ、ロバート・アームストロングほか
料金: 1作品800円、2作品1,500円
「芸術の鑑友の会」会員は1作品500円
ミュージアムホールにて

5月19日(金)

■ キュリー夫人

①10:30 ②14:00
女性初のノーベル賞受賞者であり、同賞を初めて2度受賞した人物でもあるマリー・キュリー。女性学者に対する偏見に屈せず、世界を変える発見を成し遂げた彼女の半生を、夫婦愛を軸に描く(1943年、1時間52分)



「キュリー夫人」の一場面

監督: マーヴィン・ロイ
出演: グリア・ガソン、ウォルター・ピジョンほか
料金: 800円、「芸術の鑑友の会」会員 500円
ミュージアムホールにて

■ 美術館の日

4月29日(土・祝)~4月30日(日)

2002年4月6日に兵庫県立美術館が開館したのを記念して、毎年4月に「美術館の日」を開催しています。2日間にわたり多彩なプログラムを開催します。詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

各主催者によるイベント

■ Lemurian Music Festival, ~レムリアの音楽祭~
4月22日(土) 16:00開演 (15:30開場)
アトリエ1にて
入場料: 一般 2,500円 / 学生 1,500円 / 小学生 1,000円
主催: 西川順子
お問合せ: junpuchjun512@gmail.com

■ フルート・サクソフォン・ピアノによる
午後の音楽会(お話し付き)

5月14日(日) 14:00開演 (13:30開場)
アトリエ1にて
入場料: 一般 3,000円 / ベア 5,000円 / 中学生以下 1,500円
(3歳以下無料 / 要予約・全席自由)
主催: トリオ・エクラ
お問合せ: trioecolat3.fsp@gmail.com
080-3826-9173 (山田)

■ 2023年第51回現代芸術国際AU展

6月20日(火)~6月25日(日)
10:00~18:00 (最終日は15:00まで)
ギャラリー棟3階にて 入場料: 無料
主催: ART UNIDENTIFIED (AU)
お問合せ: 0798-64-5370

共催展

■ ゴッホ・アライブ

6月4日(日)まで 10:00~18:00(入場は17:00まで)
ギャラリー棟3階にて
入場料: 一般 2,500円 / 大学・高校生 2,000円 / 中学・小学生 1,500円
会場中に設置した最大7mの壁・床に投影する最新鋭の映像と大迫力の音楽で臨む「ゴッホ」。世界で850万人を動員した話題の没入型展覧会。すべて撮影OK。アートファンからファミリーまで、自分が作品に溶け込むような感覚を楽しめます。
主催: 「ゴッホ・アライブ」神戸会場実行委員会
お問合せ: キョードーインフォメーション 0570-200-888 (月~土 11:00~18:00)
公式HP: https://goghalive.jp.com

